

特集 ゴム企業の健康経営②

JRC

ベルトコンベヤ部品の国内トップシェアメーカーであるJRCは、昨年3月に「JRC健康経営宣言」を策定し、社員一人ひとりの健康維持・増進や働きやすさの向上、働きがいのある職場の実現に取り組んでいる。こうした活動が評価され今年2月、「健康経営優良法人2019」に初めて認定された。

同社の取り組みのひとつが“ワークライフバランスの充実”だ。勤怠管理システムを全社へ導入し、勤怠実績の見える化を行い、深夜残業や所定の残業時間（月30時間）を超えた社員に対して、改善指導する体制を整えた。

さらに、これまでは1日単位の有給休暇取得制度だったが、それに加



従業員の親睦をはかるために実施されたバーベキュー大会（本社・工場）

制度を新設した。

メンタルヘルスについては、ストレスチェックを新たに導入した。すでに全従業員が実施できる体制が整っており、早期に実施する予定という。また3年前から社員の満足度調査を実施している。そこから拾い上げた問題点や課題を検討し、職場改善につなげてい

ワークライフバランス充実へ 勤怠管理システム全社に導入

え、1時間単位での有休制度を新たに導入した。これにより「保育園の送り迎えなど、ちょっとした日常の私用でも、有休を気軽に取れるようになった。一日単位では有休が取得し難い場合でも、数時間単位ならば取得しやすく、社員からも好評を得ている」（浜口稔社長）という。また、「当社は女性従業員が15%程度と少ない。そのため女性が働きやすい職場環境にして、女性従業員の割合を30%程度まで高めたい」としている。

有給休暇を取得しやすくするため、連休前後に有休奨励日を設けたり、年度の初めに計画的に有休取得日を調整したりして、取得率の向上にも努めている。「今年度は5割以上の取得率を目標にしており、次年度以降は7割を目標にしていく」（同）。

健康維持・増進という面では、生活習慣病検診の診断項目を充実させ脳梗塞や心筋梗塞などの早期発見に取り組んでいる。検診結果内容に問題があった社員については保健師による健康指導も行っている。また感染症対策として、全社員を対象にインフルエンザの予防接種を会社が全額負担するという

る。

社員のコミュニケーション活性化にも取り組んでおり、全社員を対象にした5年に1度の海外社員旅行やボーリング大会、バーベキュー大会などの親睦行事を実施している。

健康経営について浜口社長は「社員が生きいきとして働ける職場環境を整え、みんなが健康で満足して働けるようにしたい。それにより生産性も向上し、社員のやる気もさらに高まるという好循環が生まれる。また人材採用・人材確保という面でも健康経営は重要な要素になっている」と、その導入によるメリットをあげている。

パワーに感嘆。ブレード交換、超簡単。



ベルトコンベヤの搬送物の付着対策に！

特長1 ブレード摩耗インジケータ



摩耗状況・交換時期が一目瞭然

特長2 ブレード交換がとても簡単！



所要時間たったの1分！

工具不要

ピンを抜き差しするだけで交換可能です。

特長3 ずっと変わらない掻き取り能力！

高性能ブレード

1枚もので搬送物の噛み込みがないポリウレタン製のブレードを採用。

自動調整テンショナー

オールステンレス製で、ブレードへの最適なテンションを長期間保持。

強力ベルトクリーナ

アスゴ・スカルパー

